

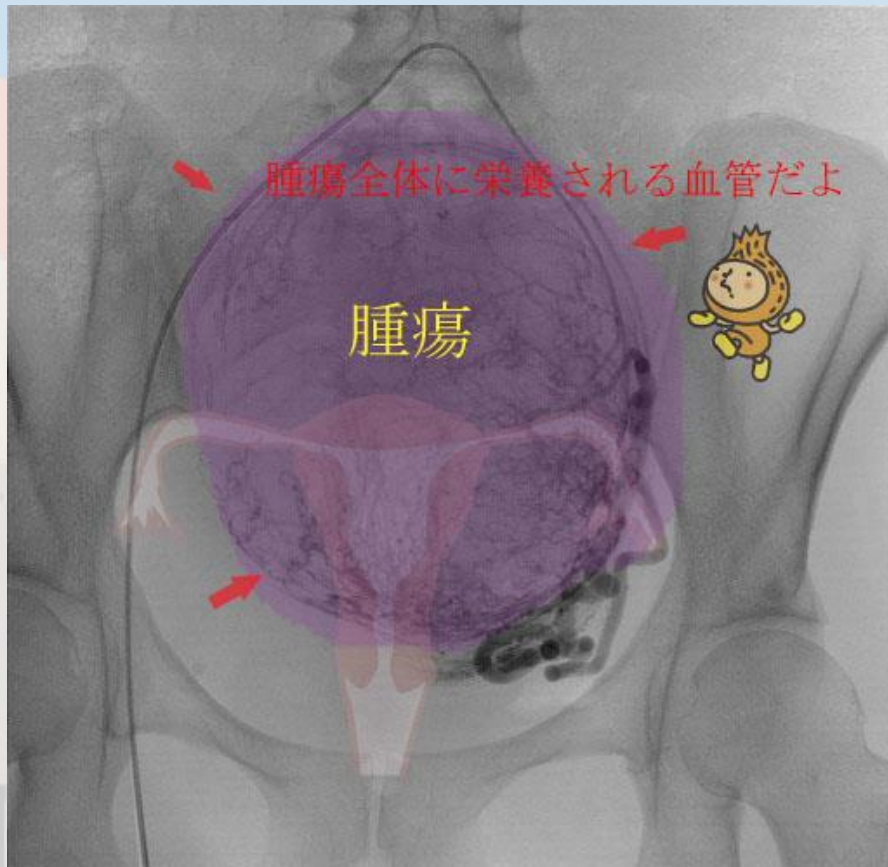
子宮動脈塞栓術 (UAE)



子宮動脈塞栓術とは？

子宮筋腫を栄養している子宮動脈を塞栓物質で塞栓(つめる)して、子宮筋腫を小さくする方法です。

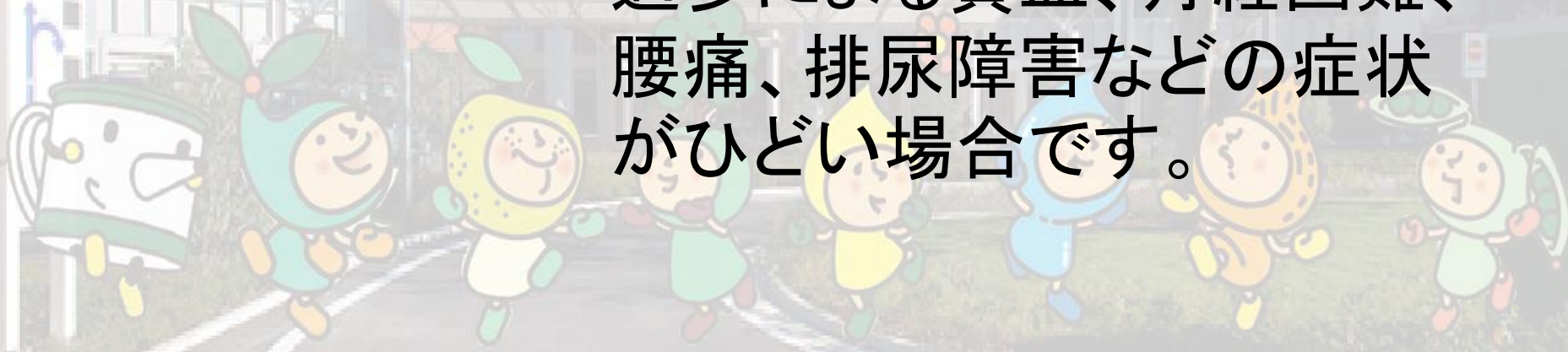
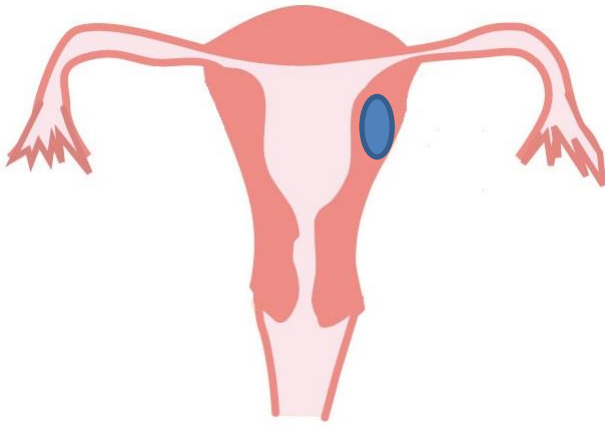
お腹を切らずに子宮筋腫を治療することができます。



子宮筋腫とは？

子宮にできる良性の腫瘍で、閉経前の女性の25%にみられます。治療が必要な人の割合は子宮筋腫がある人の中の10%以下です。

治療の対象となるのは、月経過多による貧血、月経困難、腰痛、排尿障害などの症状がひどい場合です。



子宮筋腫の治療法

1 ホルモン剤を使用する方法

更年期障害と似た症状になるお薬を使います

2 手術

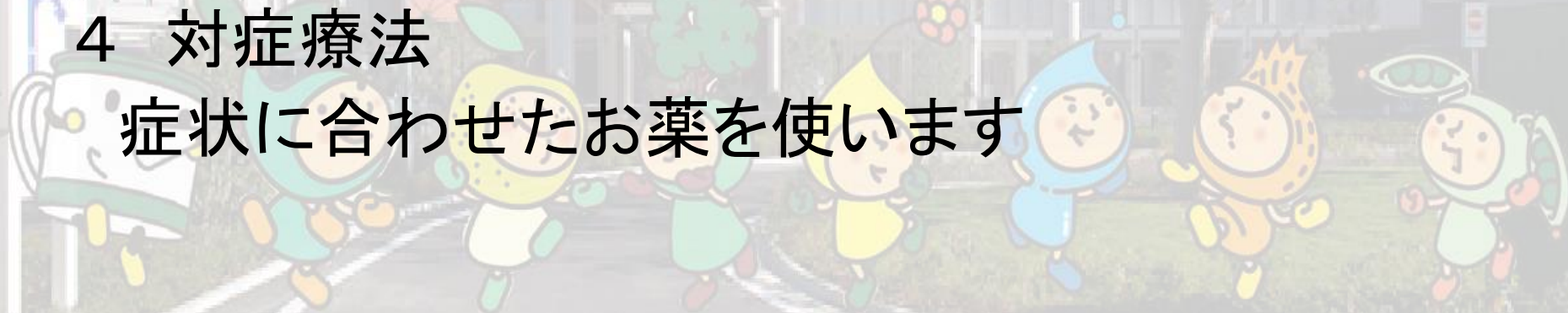
手術で子宮筋腫のみ、または子宮を全部取り出します

3 子宮動脈塞栓術

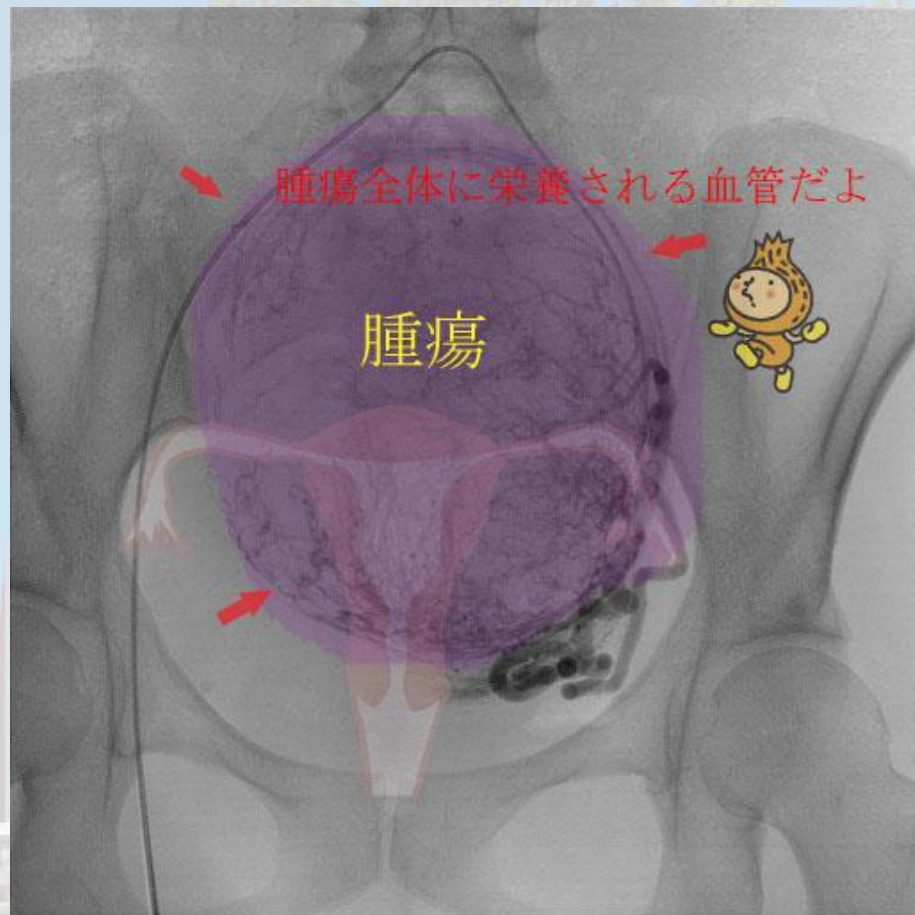
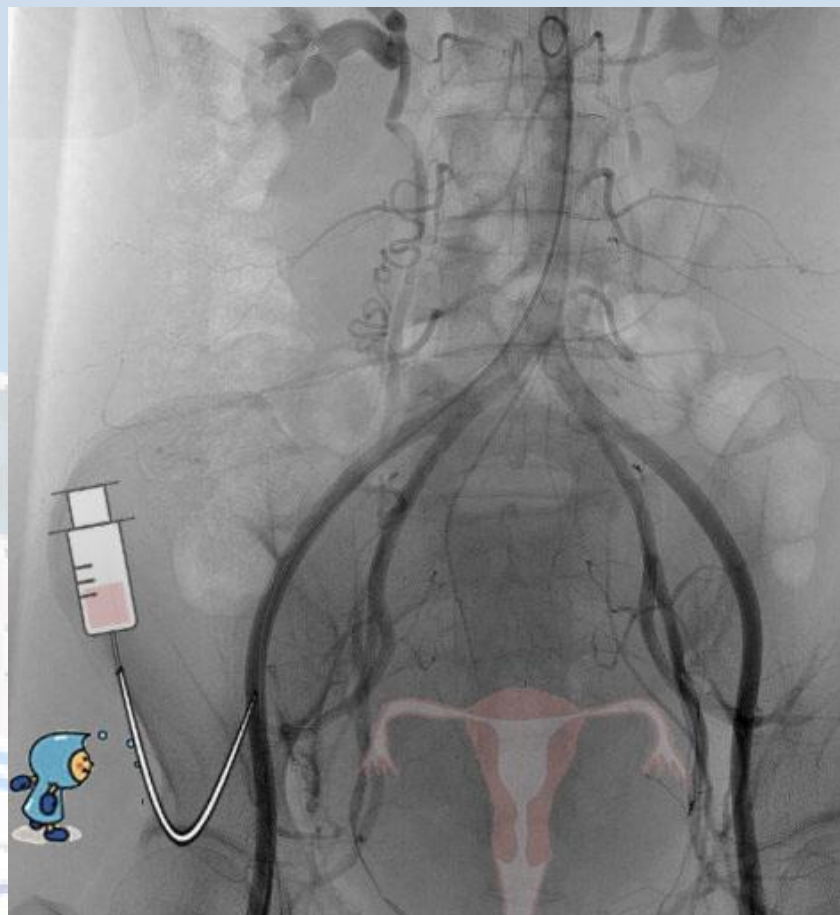
子宮筋腫を栄養している血管を塞栓します

4 対症療法

症状に合わせたお薬を使います



子宮動脈塞栓術の治療方法



足の付け根を消毒・麻酔し、直径約2mmのカテーテルを挿入します。造影しながら子宮筋腫を栄養している動脈を探していき、そこから塞栓物質（血管を詰まらせるもの）を注入して子宮筋腫への血流を止めます。

子宮への血流を止めても大丈夫？

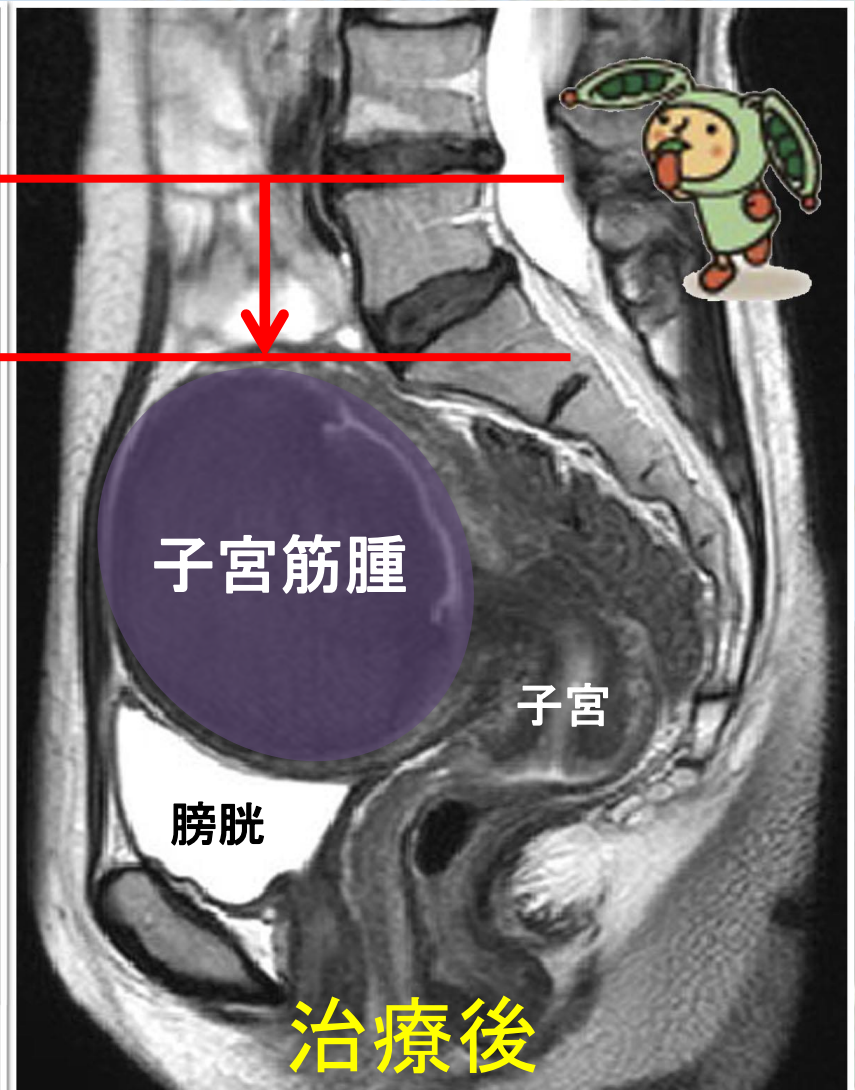
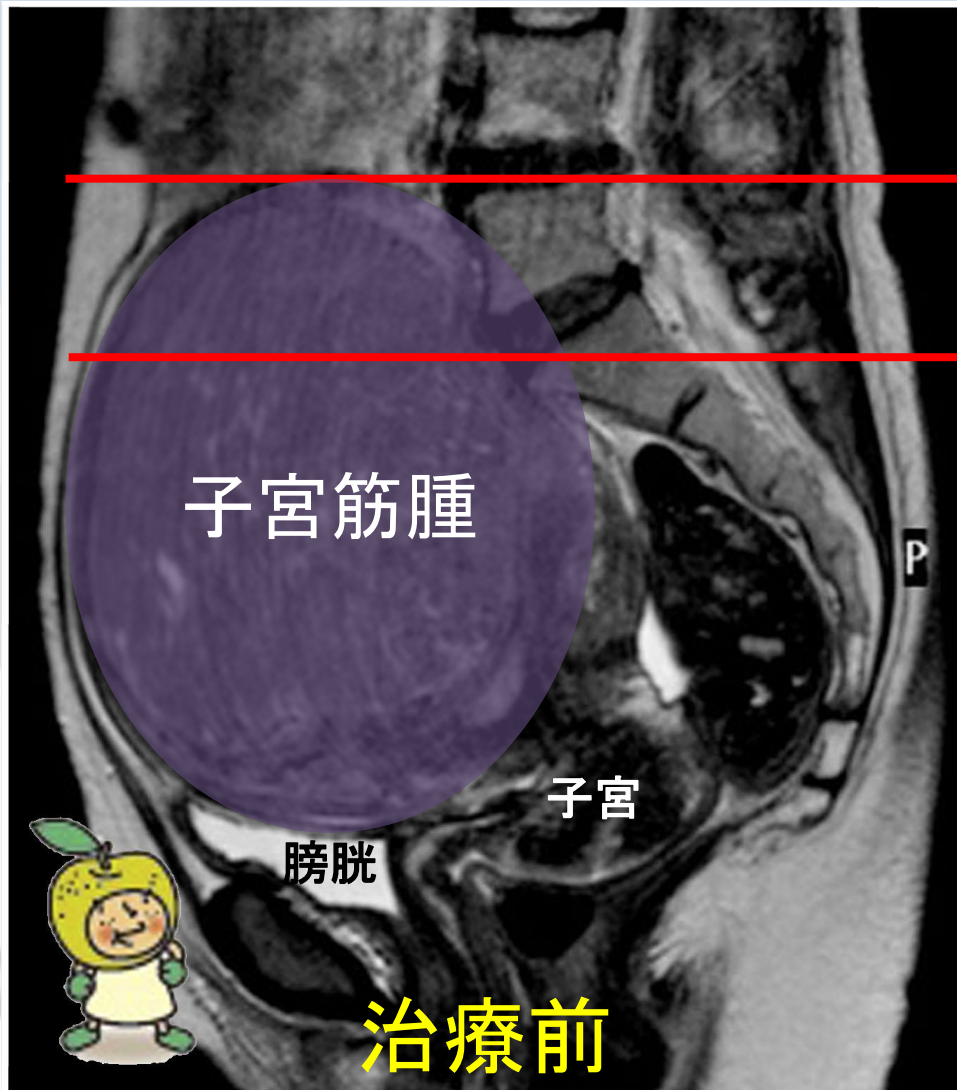
ほとんどの子宮筋腫は子宮動脈のみから血流を受けているため、血流を止めると壊死します。

しかし、子宮自体は子宮動脈以外に血液の供給があり、壊死することがありません。

また、塞栓物質にはゼラチンスポンジと呼ばれる時間が経つと溶ける物質を使います。そのため、子宮動脈には血流が戻りますが、子宮筋腫が生き返ることはありません。



治療例 (MRI画像)



一年後、子宮筋腫が半分以下に小さくなっています

子宮動脈塞栓術の合併症

①下腹部痛

治療中・治療直後に重い月経痛のような強い痛みを感じることがあります。最も強い痛みは治療後1～2時間くらいですが、1週間ほど軽い痛みを感じることもあります。

当院では持続的にモルヒネの注入療法により疼痛コントロールを行っています。また、痛みの強い時に自分で注入できる機器を使用しています。

②発熱

術後1～2日間発熱します。また微熱が1週間程続く方もいます。高熱は45歳以上から多くみられます

③卵巣機能低下

まれに塞栓物質が卵巣側に流れてしまい、無月経になる場合があります。